

令和4年度第3回 西宮市都市計画審議会

【令和5年1月26日（木）午前9時56分から午前10時58分】

議 題	内 容
報 告 第 1 号	<p>西宮市都市計画マスタープラン素案について【報告】</p> <p>○立地適正化計画の地域の魅力を活かした誰もが暮らしやすいコンパクトなまちの説明が理解しづらい。どのようなまちづくりをしようと考えているのか、分かりやすく説明すべき</p> <p>【当局回答】 立地適正化計画の目的には、本市では、今後の人口減少や超高齢化社会等の都市の課題を見据え、鉄道駅や駅等の拠点を中心に一定の人口密度を維持することで市民生活に必要な生活サービス施設や交通ネットワークを維持するなど、誰もが暮らしやすいコンパクトな都市構造の維持や持続可能な都市経営を図ることとしている。 この内容については、追記を検討する。</p> <p>○75ページの自然景観（市街化調整区域）の2つ目の黒丸の香櫨園浜、甲子園浜などの自然海浜の部分について、香櫨園浜、御前浜、甲子園浜などの自然海浜にすべきではないか。西宮市の自然海浜の代表例を挙げる場合は、御前浜は外せない考える。</p> <p>【当局回答】 香櫨園浜と御前浜は同一の場所という認識であったが、御前浜という言葉のほうが昔から使われている名称ということで、御前浜に表記を統一する。</p> <p>○将来都市構造の生活交通軸について、中津浜線を使って市外の宝塚方面へ行く人は多いと思うが、市外の区間は軸として表示しないのか。</p>
主 な 質 問 等	

【当局回答】

構造図については、上位計画である総合計画の将来都市構造図を基に作成しています。

○鳴尾の地域から西宮北口へのアクセスが非常に悪いため、検討いただきたいとの要望があった。

【当局回答】

以前から課題となっており、試験的にバスを運行していたが、定時制が確保できないなどの問題もあり、廃止されている。

JR 東海道線を跨ぐ南北の交通については、交通量をさばくための道路の容量などの問題もあることから、引き続き検討していく。